

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成22年度～平成26年度
事業実施地区名 （都道府県名）	（おしまひやま） 渡島檜山森林計画区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 渡島森林管理署
事業の概要・目的	<p>当事業は、渡島檜山森林計画区のうち、八雲、森、東瀬棚及び今金地域の函館市、北斗市、七飯町、鹿部町、森町、八雲町、長万部町及び今金町に所在する124千haの国有林を対象としている。</p> <p>当計画区内の森林は、トドマツ、ブナ、ミズナラ、カンバ類等が混交する天然林を主体として、一部トドマツ等の人工林で構成されている。</p> <p>当地域の大半が水源かん養保安林に指定され、水源かん養機能の発揮が期待されるとともに、淡水域や海水域への土砂流出防止、駒ヶ岳山麓等は地すべり等が多く、山地災害防止機能の発揮が期待され、これらの地域は主に「水土保全林」に区分されている。</p> <p>また、駒ヶ岳、恵山、狩場山周辺は優れた自然環境を有していることから国定公園、道立公園、狩場山地須築川源流部森林生態系保護地域に指定され、自然環境の維持・保全を図ることが期待されているため、主に「森林と人との共生林」に区分し管理経営を実施している。</p> <p>当事業は、これらの地域の特性を踏まえて、地球温暖化防止や水源かん養機能、木材生産機能等の森林の有する多面的機能を総合的かつ高度に発揮させるため、森林の重視すべき必要な更新や間伐等の保育作業、並びにこれらを実施するために必要な路網整備を機能の区分に応じて実施するものである。</p>		
	主な事業内容	森林整備	更新面積 223 ha 保育面積 14,552 ha
		路網整備	開設延長 36.0 km 改良延長 1.2 km
	総事業費	3,262,592 千円	
費用対効果分析	総 便 益（B）	53,650,711 千円	
	総 費 用（C）	5,677,854 千円	
	分析結果（B / C）	9.45	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 地球温暖化防止対策や国土保全、水源かん養及び保健休養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源かん養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>		

便 益 集 計 表

事業名: 森林環境保全整備事業

事業実施主体: 北海道森林管理局

事業実施地区名: 渡島檜山森林計画区(北海道)

渡島森林管理署

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	15,008,940	
	流域貯水便益	5,886,540	
	水質浄化便益	8,302,682	
山地保全便益	土砂流出防止便益	20,847,068	
環境保全便益	炭素固定便益	2,103,713	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	79,611	
	木材利用増進便益	35,855	
	木材生産確保・増進便益	1,113,199	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	250,090	
	治山経費縮減便益	13,547	
	森林管理等経費縮減便益	5,529	
	森林整備促進便益	3,937	
総便益(B)		53,650,711	
総費用(C)		5,677,854	
費用便益比		9.45	